

平成28年8月1日

小松市史編纂事務局

へんさんだより



# 市史へんさん

先月22日に梅雨明け宣言してから、ますます厳しい日照りが続き、外出するには勇気のいる毎日ですがそんな中、各部会の専門委員は、市史発刊のための調査に駆けずり回っております。『産業編』の執筆も、大詰めを迎え、足りない資料は、再度調査に出掛け、新たな資料の獲得に務めています。年度末の完成を目指し、市民の皆様にはご期待してお待ちください。

また、先月9日には市史講座が開催され、多くの方にご聴講いただき、ありがとうございました。今回の「へんさんだより」はその内容をまとめてみました。次回講座も多数のご参加をお待ちしております。

## 第73回 市史講座

講師：和田 修早稲田大学准教授

### 芸能から見た曳山子供歌舞伎

7月9日(土) 参加人数40名



会場：小松市公会堂



今年は5月に、曳山子供歌舞伎250年大祭が行われ、市史講座でもこれにちなんで、和田修早稲田大学准教授に、「曳山」について、ご講演いただきました。今回は、これまでとは違った視点から、「曳山」を町中で曳き回す謂われや、歌舞伎が何故演じられるようになったのかを検証しました。

曳山といえば、京都の祇園祭で練り歩く山鉾もその一つで、これは疫病退散を祈願するものです。このように曳山は、町中を曳き回しながら、悪いもの(疫神)を寄せ集める役割があります。故に、曳き寄せた悪い靈は、追い祓わなければならず、行事終了後に、曳山を壊すのが通例です。

ところが、小松の曳山は壊すという行為をせずに、新しいもの、たとえば装飾だったり、人形などをつくって付け加えたりして、山を更新するという行為を執ります。時には曳山の更新(付け加え)がない場合もあり、その時は演目を更新したり、演ずる子供役者を変えたり、とにかく何らかの新しいものをつくり出しています。曳山は変える(=壊す)ということに意味があるのです。いわば、曳山は「疫神送り」と言って、たたり神を祓うために曳き回し、壊すという行為の代わりに更新によって悪霊が祓われるのです。

そして、小松の曳山の場合は、曳くだけでなく、山を舞台にして歌舞伎が演じられます。歌舞伎舞台の構造はいろいろ変遷します。初期の頃は、能舞台をそのまま使用し、その内、その舞台の屋根が撤去され、18世紀中頃には、張り出し舞台、破風屋根、花道ができ、更に後半には、付け舞台が客席の方に大きく張り出し、まさに小松の曳山の構造に似ています。構造が同じなら、ここを舞台に歌舞伎ができると考えて、子供歌舞伎に繋がったということです。歌舞伎あっての曳山でなく。疫神送りとしての曳山に歌舞伎が加わったと考えたのです。歌舞伎の舞台構造を踏まえ、その演出をうまく残して、今日に伝えて来ているのです。

## 市史講座 アンケート結果 (30名回収)



### 【講座はいかがでしたか?】

- |             |     |
|-------------|-----|
| ・ ほぼ理解できた   | 16人 |
| ・ 勉強になった    | 7人  |
| ・ 分かりやすかった  | 4人  |
| ・ 難しかった     | 3人  |
| ・ または非参加したい | 3人  |

### 【年齢】

- |         |     |
|---------|-----|
| ・ 80代以上 | 11人 |
| ・ 70代   | 10人 |
| ・ 60代   | 5人  |
| ・ 50代   | 3人  |



### 【性別】

- |      |     |
|------|-----|
| ・ 男性 | 23人 |
| ・ 女性 | 9人  |



### <事務局7月の活動状況>

- ・ 7月 1日(金) 編さん・編集委員会
- ・ 7月 3日(日) 奉納絵馬調査
- ・ 7月 3日(日) 石工関係資料調査
- ・ 7月 9日(土) 市史講座
- ・ 7月 14日(木) 教育資料調査
- ・ 7月 17日(日) 町家予備調査
- ・ 7月 22日(金) 町家実測調査
- ・ 7月 24日(日) 考古部会
- ・ 7月 29日(金) 漁業関係調査



### 【ご感想】

- ・ 曜山の始まりが分かったような気がする
- ・ 比較的に分かり易く説明して頂いたので理解できた
- ・ 危機を駆使して大変分かり易かった
- ・ 即座にVTRや写真画像を駆使しており時間的にタイミングよく説明されていたように思う
- ・ 歌舞伎の歴史の流れが少し分かった
- ・ 歌舞伎の今昔が大変良くわかりました
- ・ 曜山歌舞伎の背景、目的、舞台の変遷などよく理解できた

### 【ご希望】

- ・ 八日市町地方、三日市町地方、中町地方、大文字町地方などの行政的役割機能についての講義をしてほしい

### お知らせ

#### 『天神と文学』

講師：綿抜豊昭筑波大学教授

日時：9月 24日(土) 午前 10時～11時30分

会場：図書館1階 視聴覚室

図書館共催事業

### <8月のカレンダー>

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

は小松市史編纂事務局が閉室しています。

### 小松市史編纂事務局（小松市立図書館2階）

- ・ 住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町19
- ・ TEL 0761(24)5315
- ・ FAX 0761(22)9763
- ・ E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp
- ・ URL <http://www.city.komatsu.lg.jp/shishihensan/index.html>